

# 日本体育大学

## 令和8年度入学者選抜 【出題の意図・模範解答】

学部・選抜方式	体育・スポーツ文化・スポーツマネジメント学部 総合型選抜 トップアスリート方式 10月(予備日)
科目	小論文

### 【出題の意図】

- ・アスリートに求められる「競技力」と「人間性」をどのように理解しているかを確認し、スポーツ経験を社会的価値へと結びつけて考える力を評価するため。
- ・自身の経験から得た学びを、努力・協働・規律・挑戦などの普遍的価値として整理し、それを社会でどう活かせるか論理的に説明する力を測るため。
- ・600～800字の文章の中で、具体例と抽象的な説明を組み合わせ、一貫した構成で表現する文章力・思考力を確認するため。
- ・体験の羅列ではなく、スポーツを通して得た人間的成長を自ら言語化する資質を見極めるため。

### 【模範解答】

国際大会において、日本のアスリートが「リスペクト」や「フェアプレー」の姿勢によって高く評価される場面は少なくない。これらの行動は単なる礼儀正しさとして片づけられるのではなく、国際社会に多面的な影響を与える力をもつと考える。

第一に、その姿勢は国際的な信頼の構築に寄与する。異なる文化的背景をもつ選手同士が競い合う場では、価値観や行動様式の違いから摩擦が生じることもある。その中で、日本のアスリートが試合後に対戦相手へ敬意を示す、判定に対して過度に抗議しない、規律を守って振る舞うといった行動は、国際社会において「信頼される競技者」「誠実なスポーツ国」という印象を強める。これは、スポーツを通じた外交的な存在感を高める効果をもつ。

第二に、「リスペクト」や「フェアプレー」はスポーツの価値を世界に再確認させる役割を果たす。勝利至上主義が加速する現代スポーツでは、時に暴力、差別、ドーピングなどの問題が社会を揺るがす。こうした状況下で、相手を尊重し、ルールに従い、公正に戦う姿勢を示すことは、スポーツが本来持つ教育的価値や倫理性を国際的に発信する行為となる。これは、功利主義的な「結果重視」を超えて、義務論的・徳倫理的観点から「行為としての正しさ」を世界に示す意義をもつ。

第三に、このような姿勢は次世代への影響力を持つ社会的ロールモデルの形成につながる。トップアスリートの振る舞いはSNSやメディアを通じて瞬時に世界へ広がり、多くの若者の価値観形成に大きく影響を与える。

以上のように、日本のアスリートによる「リスペクト」や「フェアプレー」の姿勢は、国際的な信頼の向上、スポーツ倫理の再評価、そして次世代の価値観形成といった多角的な影響をもたらす。これらの行動は競技の枠を超え、文化交流や国際関係にまで広がる波及効果を持つものであり、スポーツが国際社会に貢献し得る重要な要素であると考えられる。